

成果連動型民間委託契約を活用したICTでの生活習慣病重症化予防事業

事業目的

1. 生活習慣病治療者のうち重症化高リスク者を抽出する
2. ICTを活用した生活習慣病改善支援プログラムを提供し、重症化（治療薬の増加および循環器病の発症）を予防する

参加団体

代表組合：三洋化成工業健康保険組合

参加組合：オムロン健康保険組合、トヨタ販売連合健康保険組合、MBK連合健康保険組合、アサヒグループ健康保険組合、三菱UFJ信託銀行健康保険組合（順不同）

民間委託事業者：株式会社PREVENT

実施の流れ



1

データベース構築
現状分析

各健康保険組合が、レセプトデータならびに健診データを匿名化し共通のデータベースを構築し、時系列データを含めた現状分析を行う。



2

リスク予測
対象者抽出

構築したデータベースから加入者の健康課題の抽出を行う。
また、その結果を踏まえ重症化予防事業の対象候補者の選定を行う。



3

保健事業実施（16週間）

【対象】

- ・生活習慣病を治療中
- ・リスク判定によるハイリスク該当者

【介入内容】

- ・ウェアラブル機器、塩分測定器、スマホアプリを活用したライフログ管理
- ・医療専門職との遠隔個別面談（全8回実施）
- ・医療機関、産業医とのレポートを介した情報共有



4

効果判定

保健事業の成果をレセプトデータならびに本人から提供いただいた診療データをもとに分析し、アウトカム、アウトプットを評価する。

ロジックモデル

